

# 本渡北小学校研究発表会

## 研究主題

「自ら考え、ともに高め合う北っ子」を目指して  
～深い学びにつながる学び合いの授業づくり～

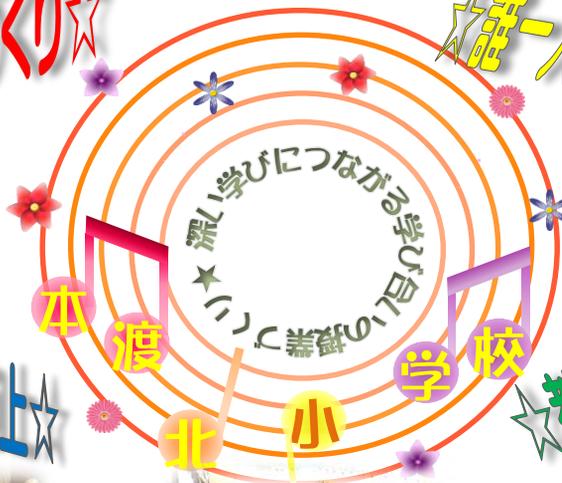


☆学び合いの授業づくり☆

☆誰一人取り残さない学びの保障☆

☆教員一人一人の授業力向上☆

☆教科担任制に向けて☆



## はじめに

本校はこれまで「自ら考え、ともに高め合う北っ子を目指して～深い学びにつながる学び合いの授業づくり～」を研究主題とし、（視点1）課題設定の工夫、（視点2）学び合いの充実を中心に研究を進めてきました。また、「熊本の学び」推進プラン及び「熊本の学び」アクションプロジェクトを正しく追究していくために、スタートアップ研修や校内研修推進事業を実施し、全教職員で確認しながら推進してきました。これらの取組の結果、学び合いアンケートや児童の声にまとめているとおり、意識の向上が確認でき、その成果が得られています。さらに、小学校における「教科担任制」についても、研究の端緒に就いたところです。

本日の研究発表会を通じて、ご参会の皆様には忌憚のないご意見等を賜りたく存じます。

最後になりましたが、本研究の推進にあたり、ご指導・ご支援を賜りました天草市教育委員会及び関係の皆様にご心から感謝申し上げます。

天草市立本渡北小学校 校長 酒井 武志

令和4年2月3日(木)

天草市立本渡北小学校

# 主題設定の理由

## これまでの研究から

- 学び合いの学習を通して、友達と積極的に関わりながら、自分の考えを深めたり広げたりできていると実感した児童が増えた。また、課題設定の工夫により、課題解決に主体的に取り組む姿が見られた。しかし、まだまだ児童一人一人の学習に取り組む姿勢や教科間において差が見られる。どの教科においても、児童一人一人を「学びの主体」として育てていく必要がある。
- 諸学力調査において、目的に応じて、文章と図表を結び付けるなどして、必要な情報を見付け、それらを整理して条件に合うように記述する力、必要な情報を整理し筋道を立てて考え、数学的な表現を使って説明する力に課題が見られた。授業の中で、記述する力・説明する力を高める活動を充実させなければならない。

## 今年度は・・・

- 児童一人一人を「学びの主体」として育てる授業を目指すために、これまでの研究の成果や課題を基に、『課題設定の工夫』と『学び合いの充実』の更なる深化を図っていく。
- これまで本校で取り組んできた取組と「熊本の学び推進プラン」とのつながりを明確化した「北小版熊本の学びアクションプロジェクト」を基に、「熊本の学び」を追究する取組を進める。
- 自分の学びを知る振り返りや、学校と家庭の学びをつなぐ家庭学習の更なる充実を図る。
- 小学校教科担任制の導入に向け、「いつでも」「誰でも」「どの教科でも」「どの学年でも」「どの学級でも」、同じ児童の姿を目指した共通実践を進める。
- 校内研修等、教師一人一人の指導力の向上を目指した取組の充実を図る。

# 研究の構想





# 学びを支える取組

## 教師の指導力の向上

- ・年間30本以上の研究授業の実施
- ・「熊本の学び」授業実践8つのチェックリスト及び「研究授業省察シート」の活用
- ・熊本の学びスタートアップ研修及び校内研修サポート訪問の実施
- ・メンターグループ（異年齢教員グループ）による意見交換
- ・担任外による授業の積極的な実施

## 「熊本の学び」授業実践8つのポイントチェックリスト

「熊本の学び」授業実践の 8 つのチェックリスト（天草版）

番号	観点	チェックリスト	授業参観での気づき
1	目標づくり	互いに失敗や間違いを認めたり、考えの違いを大切にしたりしている。	良かった点 一人一人の思いや可能性を認め、励ます等
	単元	見えてきた点	改善が必要点

気づき(成果や課題)等を記入し、授業者へ

チェックリストをもとに研究授業を参観

## 研究授業省察シートの活用

研究授業省察シート

教科・単元名	6年 国語 「みんなで楽しく過ごすために」		
授業日	10月28日(木)	授業者	濱田 祐輔
①	視点1・・・実行性のある課題を設定、自分たちのこととして書いていた。効果あり。 ・学習内容の活用課題・・・算数のような問題まで書けないだろうか。		
②	視点2・・・自分の意見が認められながら、課題の難しさがあって自分の考えが持てなかった。		

研究授業事後研での協議や授業の成果や課題を、授業者自身がまとめることで、すぐに授業改善へつなげられるようにした。

熊本の学び  
スタートアップ研修(8月)

校内研修サポート訪問(11月)  
メンターグループでの  
事後研究会の実施

## 学習規律「北っ子これだけは！10項目！」

「いつ」「誰」「どの教科」でも共通実践できるよう、『北っ子これだけは10項目(教師版は20項目)』を作成し、児童も職員も意識化できるようにした。さらに家庭版も作成して全家庭へ配付し、学習の準備や家庭学習等の啓発を進めた。

～学習のきまり～  
「北っ子これだけは！10項目！」

- 学習道具の忘れものゼロ
- 筆箱の中身がぞろっている(不要なものは持たない)
- 一分前着席
- 正しい姿勢で「チョンペン」「スパイクペン」
- ノートは見やすくていねいに
- 返事ははざれよく「はい！」
- 手をあげるときは指先ピン
- 話すときはみんなを見ながら 話尾まではっきり
- 聞くときは話す人を見てうなずく
- 毎日 家庭

児童版

「北っ子これだけは！10項目！」 5-6年  
～家庭版 学習のきまり～

学習道具の準備、整理、持ち運び

筆箱の中身がぞろっている

着席の準備

姿勢

返事

手

話し方

聞き方

毎日 家庭

家庭版

「北っ子これだけは！20項目！」  
～教師版 学習のきまり～

学習環境の整備

学習道具の準備

筆箱の中身

着席

姿勢

返事

手

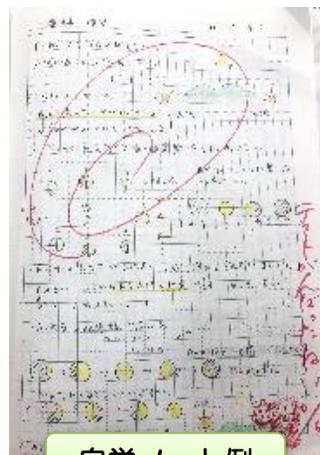
話し方

聞き方

毎日 家庭

教師版

児童・教師・家庭で  
共通実践！



自学ノート例

## 家庭学習の充実

- ・授業と家庭学習をつなぐ自学の推進
- ・課題の量や質の精選

自分で計画を立てて  
取り組む学習！

学校での授業と  
家庭学習をつな  
げよう！



～自学の達人への道～

1. 毎日、続けよう！！
2. 自分が納得できる自学にしよう！！
3. 学校の他強と自学をつなげよう！！

自分のための学習！

## 補充学習の充実

- ・のびのびタイム、放課後学習教室
- ・地域との連携

のびのびタイム、放課後学習教室等の補充学習の時間に、天草高校の生徒に来てもらって個別の学習支援の充実を図った。





導入の工夫

☆ 問いを引き出す問題提示

- ❑ 疑問を持たせる
- ❑ 既習事項を想起し比べさせる
- ❑ 対話で興味・関心・意欲を高める
- ❑ 考える必要性を感じさせる
- ❑ ゲーム的要素で意欲を高める
- ❑ 課題との出会わせ方を工夫する
- ❑ 生活と関連付ける

児童の問いを引き出し、児童の言葉を整理して学習課題の設定につなげます！

「〇〇したのは、なぜかな？」

「昨日の学習と違うのは…。」

「みんなは〇〇と言っていたけど…。  
本当かな？」



今日の課題は…。

☆ 児童の視点での課題設定

- ❑ 本時の目標に迫る課題
- ❑ 意欲を高めるような課題
- ❑ 分かりやすい具体的な課題
- ❑ 多様な考えを引き出す課題



か なぜ、〇〇なのだろうか。

か どれが一番△△なのだろう。

か 本当に□□なのだろうか。

深める問い『ジャンプの問い』

深める問い『ジャンプの問い』とは、提示された課題の解決過程で、さらに学びを深めるための問いです。深める問い『ジャンプの問い』を通して、より理解を深めたり、新たな考えを形成したりして、思考力・判断力・表現力を伸ばしていきます。

「本時の後半で！」「単元の最後に！」等、より効果的な場面を選んで位置づけていくことも大切です。

知的好奇心に働きかける問い

- ◎比較する
- ◎夢中になる
- ◎ゆさぶられる
- ◎簡単に答えが出ない

思考力・判断力・表現力を高める問い

- ◎グループで力を合わせると解ける
- ◎粘り強く取り組むと力を高めることができる

習得した知識・技能を活用する問い

- ◎諸学力調査問題
- ◎日常の事象と結びつけた問題
- ◎教科書にある発展問題等

単元を通した課題 → 単元デザインの工夫

単元を通した課題を設定し、構想案に明記します。

単元の課題を設定する際に、

- ①学習内容の習得に適したものであること
  - ②児童の興味・関心・意欲を喚起するものであること
- 等を意識します。単元を通した課題の設定は単元デザインの一部と捉え、学習内容を習得するために、どのタイミングでどんな活動をするかよいのかを熟考します。毎時間の授業のつながりを明確にして、単元を通してひとつながりの学習活動になるよう単元をデザインします。



# 研究の実際

## ～ 国語部会 ～

### 課題設定の工夫【単元デザインの工夫】

6年国語「みんなで楽しく過ごすために」

<単元のねらい>

目的や条件に合わせて計画的に話し合う力の習得

<単元の課題>

燦々と輝くクラスに！計画的な話し合いで、  
クラスのレベルアップ改善策を導き出せ！

#### ☆工夫①

実効性が高く、学級目標と関連付けた課題設定

#### ◎成果

主体的に学習に取り組むことができ、学級への帰属意識が向上した。

#### ☆工夫②

単元途中の例題を使った話し合い演習の実施

#### ◎成果

国語科の見方・考え方を具現化することができ、  
目指す姿を共有することができた。

### 学び合いの充実【ICT】

2年国語「馬のおもちゃの作り方」

か 正しくならべかえるには、どんなことばに  
気をつけるといいかな。

バラバラに配置した段落を、順序を表す言葉を手掛かりにタブレット内で正しく並べかえる活動を通して、全員が自分の考えをもち、ペアで画面を共有することで対話が生まれた。また、教師用タブレットで児童の回答を一覧にして確認し、意図的な指名による学び合いの充実につながった。

一人一人が思考

画面を共有して  
対話を促す



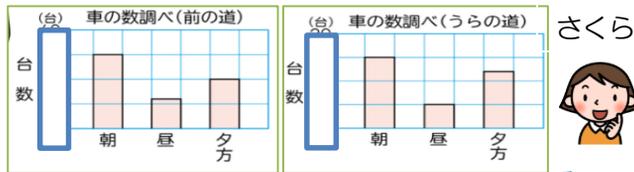
タブレットPCを活用

## ～ 算数部会 ～

### 課題設定の工夫【本時のジャンプの問い】

3年算数「表とグラフ」

か 見やすいグラフにするには、どうすればよいか。



学校の前の道もうらの道も、朝通った車の数は同じだね。

<ジャンプの問い>

さくらさんの言ったことは正しい？正しくない？  
それとも、このままでは分からない？

教科書に示されている2つのグラフを比較し、立場を決めて話し合わせた。先に「正しい」「正しくない」の意見を出し、その後「分からない」の理由を問うことで、1目盛りの大きさを根拠としてグラフを読むことの必要性を捉えさせた。

### 学び合いの充実【説明する】

4年算数「面積」

か 長さの単位がちがうとき、面積はどのようにもとめるとよいのだろう。

「縦200cm、横4mの掲示板の面積は？」という問題について、一人学びの後、グループで考えを共有する場を設定した。一人一人が自分のノートにかいた図や式等を見せながら説明する機会を確保した。全員が学び合いに参加することができ、自身の考えを広げたり深めたりすることができた。

4mを400cmに直したよ。



## ～ 道徳部会 ～

### 課題設定の工夫【問いを引き出す課題設定】

2年道徳「みんながつかうもの

『きいろいベンチ』」



か みんなのものをを使うとき、大切なことって何だろう。

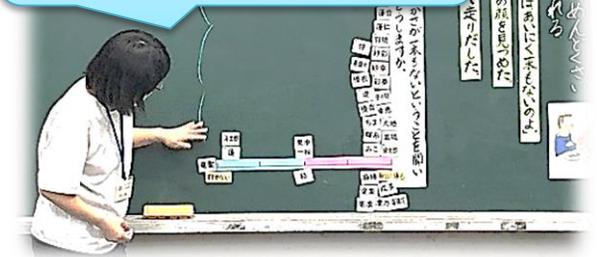
普段の生活の中から、みんなが使う『ボールの写真』を取り上げ、みんなのものと自分のものとの違いを押さえた。それぞれに約束やきまりがあることを捉えさせ、児童の言葉をもとにして本時の課題を設定した。

### 学び合いの充実【ネームプレート】

3年道徳「規則の尊重『黄色いかさ』」

か 約束やきまりは、どうして必要なのでしょう。

あなただったら、黄色いかさを取りに帰りますか？それとも黙っておきますか？



返していなかった黄色いかさを、急いで取りに帰った主人公の気持ちを考える前に、主人公と自分を重ねて考えさせる場面を設定した。黒板上に一人一人のネームプレートを貼り、立場を明確にして話し合えるようにしたことで、多面的に考えを広げたり深めたりできるようにした。

## ～ 生活 社会 理科 部会 ～

### 課題設定の工夫【単元のジャンプの問い】

5年理科「流れる水のはたらきと土地の変化」

か 洪水に備えて、どんな対策を考えるとよいのだろう。

本単元で身に付けた知識・技能を活用できる場として、洪水に対する具体的な対策を考え、表現する場を設定した。町にある川を例にして、浸食を防ぐ堤防を、曲がった川のどちらに作ったらよいのか、大雨による川の増水を防ぐためのダムや遊水池を、どのような場所に作るとよいのか等、学習してきたことを繋げながらグループで話し合って対策を考えさせた。



### 学び合いの充実【ICT】

6年社会「全国統一への動き」

か 3人のうち、誰が武将として優れているのか。

毎時間、ポジショニングを活用し、マーカの位置で自分の考えを示した。それぞれで入力することができるので、他人の意見に左右されず、自分の考えを示すことができる。また、全員の考えを重ねて表示して共有したり、自分とは異なる考えを参考にして、考えが変化したときには、マーカを再配置したりすることができる。児童の考えを可視化し、全体で共有することを繰り返しながら考えを深めた。



# 視点2 学び合いの充実

自分の考えを伝え、友達考えを受け止めて理解を深めていきます。  
友達と一緒に、分からないところを尋ねたり、考えを広げたりすることができます。



## ネームプレート

- ◆まなボード上や黒板に貼って動かしながら
- ◆自分の立場を明確にして

みんなが参加しているね

## ICT (タブレット)

- ◆画面を見せながら
- ◆画面に書きながら
- ◆データを整理しながら

みんなで一緒に学習できるね

## まなボード

- ◆図・式・表をかく
- ◆下線・矢印で示す
- ◆キーワードで

みんなで読んで話し合おう

## 納得する

受け止める

## 理解する

たずねる

## 伝える

伝え合う

のぞきこむ

相手を見ながら

見せながら

## ペアトーク

- ①自分の考えを言う。
- ②感想・意見・質問を言う。
- ③相手の目を見て言う。

聞いている人もしっかりはんのうしよう!

## グループトーク

(順番はフリーで)

目的をしっかりとって、共通点や相違点を考えながら、互いの考えをつなげながら

みんなで考えを広げよう! 深めよう!

## くり返す

- ◆見せながら
- ◆書きながら
- ◆操作しながら
- ◆図を指し示しながら

同じように言えたかな

## 読み取る

みんなでのぞきこんで発見する

- ◆ふせん・サイドラインで
- ◆タブレットの資料を見て
- ◆大判プリントで

根拠を明らかに!

## 深い学びへ

## 比較する

立場をはっきりさせて意見を交換する

- ◆AとB、どちらか
- ◆賛成か、反対か
- ◆一番はどれか など

多様な立場で考えてみよう

## 説明する

- ◆図や式、数直線などを使って
- ◆書きながら指し示しながら
- ◆相手の理解を確認しながら
- ◆結論を先に理由を併せて

いろいろな道具を使ってみよう

## まとめる

多様な考えを吟味し集約する

- ◆共通点・相違点・類似点
- ◆類型化・一般化
- ◆選択する力

つないでまとめよう

STEP UP

## ～ 特別支援部会 ～

### 課題設定の工夫【児童の視点での課題設定】

通級による指導3年  
自立活動「このあとどうなるの? 休み時間」

#### <単元の課題>

困った場面に出会ったときは、どうすればよいだろうか。

この単元では、困った場面に出会ったときに、「これをしたら、どうなるだろう?」と予測し、適切な行動を考えて表現することをねらった。

友達との関わりの中には困った場面があることに気付けるように、休み時間の出来事について振り返る場を設け、その中から課題を設定した。

また、相手の立場に立って適切な行動を考えることができるように、毎時間の課題のキーワードとして、「相手」という言葉を入れた。

か 相手にいやな思いをさせずにこたえるには どうしたらよいか。

### 学び合いの充実【まなボード】

自閉症・情緒障がい学級4年  
算数「図を使って考えよう」

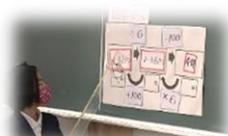
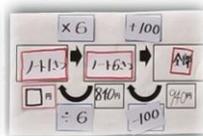
#### <問題>

文房具店で同じねだんのノート6さつ買い、そのあとスーパーに行って100円のお茶を1本買いました。ノートとお茶の代金は、全部で940円でした。

ノート1さつのねだんは何円ですか。

3要素2段階の問題について、数量関係を適切な図に表し、「順にもどして考える」思考法を身に付けることをねらった。

自分の考えが友達によく伝わるように、まなボードに書いた図や式を見せながら説明する場を設定した。更に、自分の考えを広げることができるよう、友達と考えを交流する場を設定した。

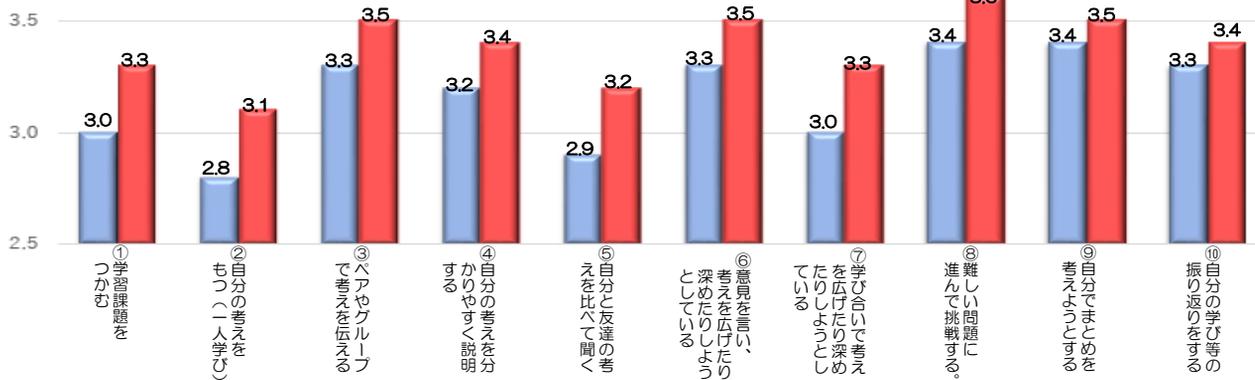


# 研究の検証

※4段階評価・7月、12月実施 全児童対象

■1学期 ■2学期

## 学び合いアンケートの結果



## 児童の声(学習の振り返り、感想等から)

はじめは片方のやり方が分からなかったけど、〇〇さんが教えてくれたので両方よく分かりました。



グループのみんなが分かりやすく教えてくれたので、難しい問題も納得できました。やっぱりグループで話し合うことで、考えが広がったり深まったりするんだなあと思えました。



今日の授業中のジャンプ問題は難しかった！自学でもう一度チャレンジします！

授業で分からなかったことを、その日のうちに完璧にできるようにしています。テスト前には、何を学習したのかを考えて自学に取り組めるようになりました。

たまには違う先生の授業があった方が、いい刺激になる。あきない。いろいろな先生と交流できるし、他のクラスのこともよく分かる。



専科の先生の方がより専門的に教えてもらえるから詳しくいいこともある。でも、どの授業でも、自分がやることは同じだから担任以外の先生の授業も気にならない。

## 教師の声(校内研修、アンケート等から)

学び合いの学習が、友達づくり・学級づくりに繋がっている。



学級内のグループだけでなく、ICTを活用しての学級間の交流により、相手意識をもって学ぼうとする態度が見られた。

自学へ繋がれるような授業中の声かけが増え、その分、児童の自学への意識の高まりを感じる。復習だけでなく予習の良さも伝えていけるようにしたい。



メンターグループでの協議は、話をしやすい雰囲気ができ、教師間の良好な関係作りにつながっている。

研究授業の実施や参観により、日々の授業改善に繋がった。また、教科部会での校内研修により、学年の系統が明確になった。

「学級担任間の交換授業」は、自身の学級での指導や発問の改善に生かすことができた。教科担任制へ向けた取組で、共通実践への意識を高めることができた。



学級王国になりがちな小学校では、教科担任制への取組は効果大。教師の得意分野も生かすことができ、学年間での協力体制にもつながる。

## 成果と課題(○:成果 ▲:課題)

- 学び合いの学習を好意的に捉え、児童の意識も高まっている。学び合いの学習における自身の成長を自覚できるようになってきた。(学び合いアンケートの結果、児童)の声よ
- 授業を行う教師側が共通実践を積み重ねてきた項目の上昇が見られる。今年度の本校の取組が、児童にも浸透していると考えられる。(学び合いアンケートの結果:質問①⑧⑨⑩、教師の声より)
- 家庭学習への意識の高まり等、「熊本の学び」が目指す児童の姿を具体的にイメージできるようになった。さらに「熊本の学び」を意識しながら、研究授業等、校内研修を工夫したことにより、教師一人一人の意識の高まりが見られ、教師一人一人の指導力の向上につながったと考える。(児童の声、教師の声より)
- 教科担任制を見据えた共通実践を進めたことで、教師だけでなく、児童にも意識の変容が見られ、来年以降の取組にも繋げることでできるのではないかと考える。(児童の声、教師の声より)
- ▲学び合いの学習や家庭学習等に向かう姿勢、基礎学力等、まだまだ個人差が大きい。今後は、さらに学び合いの学習の質の向上や個に応じた補充学習、家庭学習等の充実を目指し、「誰一人取り残さない学びの保障」に向けた具体的、計画的な取組を進められるよう努めていきたい。そして、更に「熊本の学び推進プラン」の追究に取り組んでいく。
- ▲小学校教科担任制に向けて、今後は更に教師間の共通実践の内容を精選し、より具体的な取組を進めていけるようにする。また、これまで以上に「教師一人一人の指導力の向上」を目指した校内研修を充実させていき、その成果を児童一人一人へ返していけるよう努めたい。

## おわりに

本校は、令和3年度天草市教育委員会「学力充実」研究推進校の指定をうけ、研究を推進してきました。これまで継続して取り組んできた「学び合いの授業づくり」に加え、熊本の学び推進プランを追究し、小学校教科担任制に向け、全職員で共通実践を進めて参りました。一定の成果を感じるものの、まだまだ課題も残る途上の研究です。本日ご参会の皆様からいただいた貴重なご意見やご助言を参考にしまして、今後の研究の更なる深化を図っていきたくと考えております。

末筆となりましたが、これまで様々な面でご指導ご支援くださいました天草市教育委員会、その他関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

天草市立本渡北小学校 教頭 森 常法 ・ 海内 繁雄